

昼食会や各種イベントの講師招聘に関するアンケート調査のまとめ

アンケート実施期間: 2019年4月2日～22日

回答者数: 20社(者) 回答率6% (4月時点の会員数347社)

回答企業20社中

常任理事会社: 2社、理事会社: 3社、部会長歴会社: 5社、進出企業会員: 8社、地場企業: 2社

【概要】 ブラジルの新たなチャレンジ・変革の年と位置づけ、今まで以上にブラジルだけに限らずメルコスール諸国との間でも広範囲なビジネス環境改善に向け、当局との対話の窓口を増やしつつ会員企業が共通に抱える課題について、積極的な対話の場を設ける必要がある。過去、当所の定例昼食会や各種イベント開催にあたっては、どちらかと言うと人脈を通じて講師を招聘してきたが、今後は可能な限り会員各位が望む方々、例えば国家の政策・制度改善にあたって中枢を担う政治家、有力大臣、高級官僚、諸機関(経済団体、学界など)の有識者各位にお願いして行くべく、希望の国名、該当省庁名および役職名もしくは人物名をアンケート形式で調査を実施した。同調査のまとめは以下の通りである。

昼食会や各種イベントの講師招聘に関するアンケート調査のまとめ

アンケート実施期間: 2019年4月2日～22日

回答者数: 20社(者) 回答率6% (4月時点の会員数347社)

回答企業20社中

常任理事会社: 2社、理事会社: 3社、部会長歴会社: 5社、進出企業会員: 8社、地場企業: 2社

【回答社の業種割合】

機械金属 7社 (35%)、化学品 3社 (15%)、電気電子 2社 (10%)、食品 2社 (10%)、その他の部会(貿易、金融、自動車、生活産業、運輸サービス、コンサル)からは 1回答ずつ。

【ブラジルで将来有望視される上位3事業(複数回答)】

- IT/IoT (回答数6件、14%)
- アグリビジネス (回答数6、14%)
- 自動車 (回答数3、06%)
- その他

【講師招聘にあたってブラジルを除く一番関心の高い国名 →省庁 →役職、聞きたいテーマ】

- アルゼンチン (回答数13件)
 - 通商産業省 (回答数04、22%)
 - 農務省 (回答数02、11%)
 - 外務省 (回答数02、11%)
 - 局長級 (回答数08、32%)
 - 閣僚級 (回答数06、24%)

テーマ

- 産業政策 (回答数2件、7%)
- 経済政策 (回答数2、7%)

- ・ そのほか、今年行われるアルゼンチン大統領選挙の動向 など

【 ブラジルでの講師招聘、聞きたいテーマ（複数回答）】

- ・ 経済省 (回答数 17 件、 37%)
- ・ 農水省 (回答数 03、 06.5%)
- ・ 鉱山エネルギー省 (回答数 03、 06.5%)
- ・ その他

人脈がある講師 → マルコス・シントラ (Marcos Cintra) 経済省連邦歳入担当次官のみ。

テーマ

- ・ 年金改革 (回答数 4 件、 10%)
- ・ 税制改革 (回答数 3、 07%)
- ・ 経済／金融政策 (回答数 3、 07%)
- ・ その他

【 ブラジルの講師として招聘したい政治家名、聞きたいテーマ】

- ・ ジョアン・ドリア (João Doria) サンパウロ州知事 (回答数 2 件)
- ・ パウロ・ゲデス (Paulo Guedes) 経済大臣 (回答数 2 件)
- ・ そのほか、ジョイセ・ハッセルマン (Joyce Hasselman) 連邦議員、セルジオ・モロ (Sérgio Moro) 法務大臣、ギリエルメ・テオフィロ (Guilherme Teófilo) 国家公安局長

テーマ

- ・ 経済政策 (回答数 2 件、 7%)
- ・ ICMS の税務クレジット (回答数 2、 7%)
- ・ 産業、投資促進政策 (回答数 2、 7%)
- ・ 治安改善政策 (回答数 2、 7%)
- ・ その他

【 ブラジルでの講師招聘にあたって一番関心が高い該当州名、聞きたいテーマ（複数回答）】

- ・ サンパウロ州 (回答数 13 件、 31%)
- ・ ミナス・ジェライス州 (回答数 06、 14%)
- ・ パラナ州 (回答数 06、 14%)
- ・ その他

テーマ

- ・ 税制優遇策 (回答数 2 件)
- ・ その他

～ 解説 ～

【回答社の業種割合】

機械金属 7 社(35%)、化学品 3 社(15%)、電気電子 2 社(10%)、食品 2 社(10%)、その他の部会(貿易、金融、自動車、生活産業、運輸サービス、コンサル)からは 1 回答ずつであった。

【ブラジルで将来有望視される事業名】

IT/IoT(回答数 6、 14%)、アグリビジネス(回答数 6、 14%)、自動車(回答数 3、 6%)の事業名が主に挙げられた。

【講師招聘にあたってブラジルを除く一番関心の高い国名】

アルゼンチン(回答数 13)、ウルグアイ(回答数 2)、パラグアイ(回答数 1)と圧倒的に亜国への関心が高い。

また、アルゼンチンでは通商産業省(回答数 4、 22%)、農務省(回答数 2、 11%)、外務省(回答数 2、 11%)からの講師招聘の望みが多く、それらの省庁からは局長級(回答数 8、 32%)、閣僚級(回答数 6、 24%)、当該国の日本大使(回答数 5、 20%)の順で挙げられた。

聞きたいテーマとして、産業政策(回答数 2、 7%)、経済政策(回答数 2、 7%)の他、今年行われるアルゼンチン大統領選挙の動向などが挙げられた。

【ブラジルでの講師招聘】

最も関心が高い該当省庁名は圧倒的に経済省(回答数 17、 37%)への関心が高く、続いて農水省(回答数 3、 6.5%)、鉱山エネルギー省(回答数 3、 6.5%)が挙げられた。

その中で、人脈があると答えたのは 1 社のみ、マルコス・シントラ(Marcos Cintra)経済省連邦歳入担当次官であった。

聞きたいテーマとして、年金改革(回答数 4、 約 10%)、税制改革(回答数 3、 7%)、経済／金融政策(回答数 3、 7%)が上位を占めたほか、経済見通し、道路・鉄道整備／コンセッション、農業政策、治安対策、教育対策、日本との EPA など多岐にわたるテーマが挙げられた。

【ブラジルの講師として招聘したい政治家名、聞きたいテーマ】

ジョアン・ドリア (João Doria) サンパウロ州知事(回答数 2)、パウロ・ゲデス (Paulo Guedes) 経済大臣(回答数 2)がトップ、その他、回答数 1 でジョイセ・ハッセルマン (Joyce Hasselman) 連邦議員、セルジオ・モロ (Sérgio Moro) 法務大臣、ギリエルメ・テオフィロ (Guilherme Teófilo) 国家公安局長が挙げられた。

聞きたいテーマとして経済政策(回答数 2、 7%)、ICMS の税務クレジット(回答数 2、 7%) 産業、投資促進政策(回答数 2、 7%)、治安改善政策(回答数 2、 7%)が主に挙げられた。

【ブラジルでの講師招聘にあたって一番関心が高い該当州名】

サンパウロ州(回答数 13、 31%)、続いてミナス・ジェライス州(回答数 6、 14%)、パラナ州(回答数 6、 14%)が上位 3 州であった。

聞きたいテーマとして税制優遇策(回答数 2)のほか、回答数 1 のみで外資優遇政策、セキュリティー、また、マナウスフリーゾーンの将来などが挙げられた。